



# かじやま

かんどうがいっぱい じまんがいっぱい やる気じゅう分 毎日が楽しい 梶山小



R7.3.27(木): 文責 校長

## ❖資料:南海トラフ地震に関して(その2)❖

・(No.23に引き続き、) 以下の資料は、私が防災士として話をする時の資料です。本年度は、3~6年生で、一時避難について話をしました。本資料は、一時避難に必要だと、防災士の方々が考えた用品です(あくまでも参考資料です)。時間があるときにどうぞ!



- 1 飲料水・非常食 → 最低でもそれぞれ3日分(水は1人につき2L、食料は非常食も)。
- 2 笛(ふえ) → 大声を出して助けを呼ぶと、体力を消耗するので。
- 3 ドライバー → 使い道が多い。ガラスをくだいたり、柄の部分を金づちにしたりできる。
- 4 カッター → 包帯やガーゼを切ったり、けがをした際に衣服を切り開いたりできる。料理などにも使える。
- 5 圧縮袋 → 限られた収納スペースに衣服をしまう。
- 6 現金 → ATMが使えなくなる。食料品を買ったり、自動販売機や公衆電話などで使ったりする。
- 7 筆記用具 → メモが必要な機会がたくさんある。
- 8 歯ブラシ → 避難所でも歯みがきはしたい。
- 9 綿棒 → 耳、鼻、けがの消毒など、衛生を保つうえで使い道が多い。
- 10 マスク → 感染症の対策。アイマスクにもできる。
- 11 携帯トイレ → 地域が断水し復旧に時間がかかる場合がある。
- 12 ポリ袋 → ビニール袋があれば、臭いを発するゴミや汚れた衣類をまとめて密封しておける。ビニール袋は様々な用途があり、例えば、首部分をくりぬいて防寒着にもなる。
- 13 紙皿 → 料理を取り分けたり、手を汚さず食事ができたりする(料理をはさんだり)。
- 14 プラカップ → 飲料水を入れる。
- 15 割りばし → 食事ができる。
- 16 スpoon・フォーク → はしだけでは、食事の仕方が限定されるので。
- 17 懐中電灯(ランタン) → 停電時は、照明は使えない。援助要請の合図にもなる。
- 18 手袋 → 災害の状況によっては、何らかの作業がある。防寒具としても。
- 19 お薬ケース → 持病・けがをした時に最小の薬を入れておく。
- 20 布テープ → 避難所で、様々なものを張り付けたり、メモ代わりに使ったりできる。
- 21 レインポンチョ → 防雨、防寒対策。
- 22 サンダル → 危険な物を踏まず、すばやく移動するため。
- 23 アルミシート → 地面に敷き、シートとして使う。はおって暖を取ることもできる。
- 24 アルミブランケット → うすくて軽い。防雨、防寒対策にもなる。
- 25 エア枕 → 避難所では、睡眠が大事。エア枕であれば収納場所もとらない。
- 26 非常用給水バッグ → 多くの水を確保できる。
- 27 ラップ → 皿にしつこことで汚さずに食事ができる。けがの応急処置にも使える。
- 28 アルミホイル → 食器を作成したり、フライパンの上に敷いて調理したりできる。
- 29 タオル → 災害直後は断水や停電などによってお風呂に入れない。体の汚れ等をふき取ることもできる。
- 30 ティッシュ → 手や食器をふいたり、トイレで使用したりできる。

